

ことば (* 産後ドゥーラとは…産前産後の女性に寄り添い、家事や育児などのサポートしてくれる専門家)

追跡! 過去の定例会でも質問
R4.12月定例会

鈴木詠子 議員




政策提案
「産後ドゥーラ」の活用を
社会全体で「出産」へのサポートを!

問 児童福祉法改正により新たに創設される子育て世帯訪問支援事業として、家事支援事業「産後ドゥーラ」は、産後の母親に寄り添い助ける最も効果の高い事業と考えます。「こども家庭センター」の設置も含め伺います。

答 産後ドゥーラは、当町に

問 産後ドゥーラは、当町に適切な形の事業内容となるよう調査研究します。こども家庭センターは現在の子育て世帯包括支援センターの機能を拡充、令和7年4月の設置を目指します。

子どもは「宝」社会全体で育てたい




追跡! 過去の定例会でも質問
R3.6月定例会
R2.3月定例会

保泉周平 議員




政策提案
いまだ動かず
20年前の請願、協議を
なぜ動かない行政間協議

問 平成14年2月に提出され、採択された請願「町道194号線の拡幅改良及び側溝整備」3年前の質問にも重複認定のため調整が必要と伺いました。

答 20年経っても地権者の同意と要望もあるのに、なぜ動かないのか、どのような調整をしたのか伺います。

問 関係機関の合意形成は難しい。その後の調整・進展については関係機関で調整を行っています。同意書提出を受け、再度調整を行いました。現在、具体的な進捗はありません。

道路が細か? すれ違い走行が危険!




スマホで読み取ると録画映像が見られます!

追跡! 過去の定例会でも質問

笠原則夫 議員




政策提案
保安林指定解除、
整備縮小へ!!
保安林の存続は必要か

問 赤浜地区保安林が枯損木化し、立ち枯れたり、折れた枝が落下して民家や道路に悪影響です。保安林存続の見直しが必要ではないでしょうか。

答 保安林の指定解除を含め見直しを行うには、「耕地の防風のため」という指定理由が消滅したと判断された場合に

なりませぬ。保安林改良目的の森林整備事業がありますが、再来年以降の事業であれば要望が可能なところです。

保安林にむしばまれる町道




追跡! 過去の定例会でも質問

里見夕子 議員




政策提案
COCOLOプラン
活用で不登校支援を
保護者の支援も充実すべき

問 不登校の子どもの支援はしていく上で、保護者の支援は非常に重要な役割を果たします。教育委員会が不登校の子どもの保護者なら、誰でも自由に参加できる「保護者の会」を設置すべきと思いますが、今後の取組を伺います。

答 現在、COCOLOプラン

で言われている保護者の会は設置していませんが、教育サポートセンターでの相談状況や様々な情報収集を通して研究しており、今学期中に保護者の会を開催する予定です。

誰一人取り残されない学びの保障を




顔写真の左の二次元コードを

追跡! 過去の定例会でも質問
R5.9月定例会、R5.3月定例会
R4.3月定例会、R2.3月定例会

原口孝 議員




政策提案
愛のりタクシーで
町外医療機関へ
町民の声を無視するな!
循環型導入は考えていない

問 福祉向上に向け、町外医療機関への利用拡大と循環型デマンド交通に取り組むべきです。町民アンケートにおいても2番目に多い「循環型デマンド希望」を無視した体制は納得できません。町民のための交通機関であるべきですが、町の考えを伺います。

答 現在のデマンドタクシーが最適なサービスと捉え、利便性の向上を図ると位置づけています。循環型デマンド交通導入の考えはありません。

高齢者の利便性向上へ




追跡! 過去の定例会でも質問

久保鷹矢 議員




政策提案
年代に応じた
IT教育を
誰一人取り残さない環境

問 「誰一人取り残さない」デジタル化推進のために、各年代に勉強する機会が必要です。総務省による「デジタル活用事業」を活用し、スマホ教室等を検討する必要性について伺います。

答 町では、中央公民館にお

いてシニア向けスマホ教室を不定期で実施しています。「デジタル活用支援推進事業」については、先行事例を参考に研究します。

国の制度を積極活用




5minutes Column
ギカイコラム 議会事務局のまなざし

変わることは
苦痛が伴う

寄居町議会では、令和5年12月定例会から紙の議案と併用し、タブレット端末を導入。“ペーパーレス議会”へ向けた取組を開始しました。

この定例会に至るまでに、議員は端末を使いこなすため、研修に参加して必死に新しいことを吸収しようとしており、事務局もその姿を目にしてきました。

もちろん、普段使っているスマホの延長として操作に慣れている方もいれば、電子機器はさっぱり分からないという方もいます。しかしそこは「議員の底力」。やるとなれば自分でも勉強し、定例会までにしっかり仕上げて万全の体制で臨んでいました。

端末を使っていく中で様々な課題も見つかることがあるはず。その課題の解決に事務局も力添えしていきたいと思っています。

